BEST AVAILABLE COPY

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

61-062039

(43) Date of publication of application: 29.03.1986

(51)Int.CI.

G03G 5/05 G03G 5/04

(21)Application number : 59-183720

(71)Applicant : FUJI XEROX CO LTD

(22)Date of filing:

04.09.1984

(72)Inventor: TAKEGAWA ICHIRO

YAMAMOTO KOICHI

KITO SHIRO

YAMAZAKI HIDEKO

(54) ELECTROPHOTOGRAFIC SENSITIVE BODY

(57)Abstract:

PURPOSE: To obviate the generation of crystallization and solvent crack in a charge transfer layer in the stage of manufacturing said layer and to maintain excellent mechanical strength and electrophotographic characteristic for a long period of time by using a specific arom. polycarbonate resin as a binder polymer of the charge transfer layer. CONSTITUTION: The arom. polycarbonate resin expressed by the formula is used as the binder polymer of the charge transfer layer. In the formula, X, X' denote a hydrogen atom, halogen atom or methyl group and R denotes a hydrogen atom, halogen atom, hydroxyl group, carboxyl group, acetyl group or alkyl group of 1W4C. The crystallization

resistance of the charge transfer with a solvent is thus improved and the generation of the solvent crack by the solvent in the stage of coating the upper layer is obviated. As compared with the photosensitive body in which ordinary polycarbonate of bisphenol is used for the charge transfer layer, the excellent electrical characteristic exactly equal to the electrical characteristic of such photosensitive body is obtd.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

BEST AVAILABLE COPY

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭61-62039

@Int Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

每公開 昭和61年(1986) 3月29日

G 03 G

5/05 5/04 $\begin{smallmatrix}1&0&1\\1&1&2\end{smallmatrix}$

7381-2H 7381-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

匈発明の名称 電子写真用感光体

②特 願 昭59-183720

22出 願 昭59(1984)9月4日

⑫発 明 者 竹 川 一 郎 海老名市本

海老名市本郷2274番地 富士ゼロックス株式会社海老名工

場内

⑫発 明 者 山 本 孝 一 海老名市本郷2274番地 富士ゼロツクス株式会社海老名工

場内

⑫発 明 者 鬼 頭 可 朗 海老名市本郷2274番地 富士ゼロックス株式会社海老名工

場内

⑩発 明 者 山 﨑 秀 子 海老名市本郷2274番地 富士ゼロツクス株式会社海老名工

場内

⑪出 願 人 富士ゼロックス株式会

東京都港区赤坂3丁目3番5号

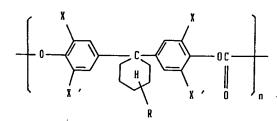
社

砂代 理 人 弁理士 中村 稔 外3名

明 細 會

- 1. 発明の名称 電子写真用感光体
- 2. 特許請求の範囲

少なくとも電荷発生層と電荷輸送層とを有する電子写真用感光体において、電荷輸送層のバインダーボリマーとして、下記の構造式で表される芳香族ポリカーボネート樹脂を用いたことを特徴とする電子写真用感光体。



式中、X、X / は水素原子、ハロゲン原子、またはメチル基を示し、R は水素原子、ハロゲン原子、水酸基、カルボキシル基、アセチル基または 炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を示す。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は電子写真用感光体に関し、さらに詳しくは、電荷輸送層のバインダーポリマーとして芳香族ポリカーボネート樹脂を用いたことを特徴とする、電荷輸送層と電荷発生層とを有する電子写真用感光体に関する。

〔従来技術〕

最近の電子写真用感光体として、少なくとも露 光により電荷を発生する電荷発生層と、電荷を輸 送する電荷輸送層の二層を有する積層型電子写真 用感光体が主流となってきている。

一般に有機感光体は、蒸着等の方法により導電層を形成したPET(ポリエチレンテレフさらにより、フレキシブルな感光体は、でした。この様な感光体は、ベルト製することができる。この様な感光体は、ベルト状に加工して電子写真複写機の中で繰り返し使用できるため、複写機のハードウェアの形状の自由度を広げることができるという利点を有している。

1

この積層型の有機感光体において、電荷輸送層のバインダーポリマーとして、ピスフェノール (A)のポリカーポネート樹脂が良く利用されている。ピスフェノール (A)のポリカーポネート樹脂は、電荷輸送材料との相溶性が良いため、感光体として作製した場合に電気特性が良好であり、また比較的機械的強度が強いという特徴を有している。

しかしながら、バインダーポリマーとしてピスフェノール(A)のポリカーポネート樹脂を用いて電荷輸送層を形成した場合にはいくつかの問題点があることが明らかになった。

第1に、感光体作製時、電荷輸送層の上層を塗布する際、用いる溶媒によっては電荷輸送層が容易に結晶化を生じることである。結晶化を生じた部分では光減衰がなく、電荷は残留電位となって残り、画質上ディフェクトとなって出現する。

第2に上層塗布時に用いる溶媒によってピスフェノール(A)のポリカーポネート樹脂のソルベントクラックという現象が生じる。すなわち一度

めよ眉で室 本先切1 輸送層が容 一として¹

本発明者らは、電荷輸送層のバインダーポリマーとして下記の構造式〔Ⅰ〕で示される芳香族ポリカーポネート樹脂を用いることによりこれらの問題点を解決できることを見出し、本発明を完成するに至った。

塗布形成された電荷輸送層を再び他の溶媒にさら

すことによって、電荷輸送層の機械的強度が著し

く低下する現象が生じる。この様な感光体ベルト

を用いて、複写機中で長時間、ベルトを回転させ

ると、電荷輸送層に亀裂が生じそれがコピー上に

本発明の目的は、上記ピスフェノール(A)の

ポリカーボネート樹脂を用いた場合に認められる

ような欠点のない電子写真用感光体を提供するこ

ひび割れ模様となって現われる。

(発明の目的)

〔発明の構成〕

とである。

本発明は、少なくとも電荷発生層と電荷輸送層とを有する電子写真用感光体において、電荷輸送層のバインダーポリマーとして、下記の構造式で

3

表される芳香族ポリカーポネート樹脂を用いたことを特徴とする電子写真用感光体である。

式中、X、X′は水素原子、ハロゲン原子、またはメチル基を示し、Rは水素原子、ハロゲン原子、水酸基、カルポキシル基、アセチル基または 炭素数1~4のアルキル基を示す。

(I) で示される化合物の具体例としては、下記のものがあげられる。

4

化合物(2)

化合物(3)

化合物(4)

$$\begin{array}{c|c} & & & \\ \hline \\ 0 & & \\ \hline \\ F & & \\ \hline \\ 0 & \\ \hline \\ 0 & \\ \\ 0 & \\ \\ 0 & \\ \\ 0 & \\ \\ 0 & \\ \\ \end{array}$$

5

BEST AVAILABLE COPY

化合物(5)

化合物(6)

化合物(7)

$$\begin{array}{c|c} & & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & &$$

7

化合物 (8) COCH₃

化合物(9)

8

本発明に使用される芳香族ポリカーボネート樹脂は、上記の例示化合物に限定されるものではない。

 のすぐれた電気特性が得られることも示された。

本発明で用いられる電子写真用感光体は、遊電層上に少なくとも電荷発生層と電荷輸送層を有するものであり、電荷発生層上に電荷輸送層が積層されていても、あるのは電荷輸送層上に電荷を出ていても、いてもよいでもよいの保護を対していてもよい。を同じて、各層関の接着であるが、というに、各層関のを発がであるが、というに、各層関のを発ができるというでもよい。

この感光体に用いられる導電性基体が対象に用いる事では、 このでは、 ないでは、 ないでは、 ないできる。

1 1

塗布液を塗布、乾燥することにより得られる。

正孔輸送性物質としては、ピレン、 N - エチルカルバゾール、 N - イソプロピルカルバゾール、 N - メチリデン- 9 - エチルカルバゾール、 N , N - ジフェニルヒドラジノー 3 - メチリデン- 10 - エチルフェノチアジン、 N , N - ジフェニルヒドラジノー 3 - メチリデン- 10 - エチルフェノチアジン、 N , N - ジフェニルヒドラジノ

電荷発生層における電荷発生材料としては、非晶質セレン、三方晶セレン、酸化亜鉛、酸化チタン、セレンーテルル合金、As 2 Se 3 金属 — 無金属フタロシアニン、スクエアリウム顔料、アントラセン、ピレン、ベリレン、ピリリウム塩、シアニン、チアピリリウム塩、ポリビニルカルバゾール、等を用いることができる。

電荷発生層におけるバインダーポリマーとしては、ポリスチレン、ポリ塩化は、ポリピニルの野ビスルの大量では、ポリピニルが関係、ポリピニルが関係、ポリピーが関係がある。とは、オリケトン、オリカーボネート、ガチラーが関係、ポリエステルなどの熱可塑性樹脂のような熱で化性樹脂など公知のものが用いられる。

なお、電荷発生層のバインダーポリマーとして、 構造式(I)に示される樹脂を用いてもよい。電 荷発生層は、上記の電荷発生材料をバインダーポ リマーとともに溶媒により粉砕もしくは溶解した

1 2

- 1 0 - エチルフェノキサジン、 P - ジェチルア ミノペンズアルデヒド-N, N-ジフェニルヒド ラゾン、P-ジェチルアミノベンズアルデヒド- $N-\alpha-t$ \mathcal{I} \mathcal{I} - ピロリジノペンズアルデヒド- N . N - ジフェ ニルヒドラゾン、1,3,3-トリメチルインド レニン-ω-アルデヒド-Ν, Ν-ジフェニルヒ ドラゾン、P-ジェチルペンズアルデヒドー3-メチルペンズチアゾリノン-2-ヒドラゾン等の ヒドラゾン類、2.5-ピス(P-ジェチルアミ ノフェニル) - 1 , 3 , 4 - オキサジアゾール、 1-フェニルー3- (P-ジェチルアミノスチリ ル) - 5 - (P - ジェチルアミノフェニル) ピラ ゾリン、1-[キノリル (2)]-3-(P-ジ エチルアミノスチリル) - 5 - (P - ジェチルア ミノフェニル) ピラゾリン、1 - [ピリジル (2)] - 3 - (P - ジェチルアミノスチリル) - 5 -(P-ジェチルアミノフェニル) ピラゾリン、1 - [6-メトキシーピリジル (2)] - 3 - (P - ジェチルアミノスチリル) - 5 - (P - ジェチ

ルアミノフェニル) ピラゾリン、1-[ピリジル (5)] - 3 - (P - ジェチルアミノスチリル) - 5 - (P-ジェチルアミノフェニル) ピラゾリ ン、1 - [レビジル (2)] - 3 - (P - ジェチ ルアミノスチリル) - 5 - (P - ジェチルアミノ フェニル) ピラゾリン、1-〔ピリジル(2)〕 - 3 - (P-ジェチルアミノスチリル) - 4 - メ チルー 5 - (P - ジェチルアミノフェニル) ピラ ゾリン、1 - [ピリジル(2)] - 3 - (α-メ チルーPージエチルアミノスチリル) - 5 - (P - ジェチルアミノフェニル) ピラゾリン、1-フ ェニルー3-(P-ジェチルアミノスチリル)- $4 - \lambda + \nu - 5 - (P - \mathcal{Y} + \mathcal{Y} + \nu)$ ピラゾリン、1-フェニル-3-(α-ベンジル - P - ジェチルアミノスチリル) - 5 - (P - ジ エチルアミノフェニル) ピラゾリン、スピロピラ ゾリンなどのピラゾリン類、2-(P-ジェチル アミノスチリル) - 8 - ジェチルアミノベンズォ キサゾール、2 - (P - ジェチルアミノフェニル) - 4 - (P - ジメチルアミノフェニル) - 5 -

(2-クロルフェニル) オキサゾール等のオキサ ゾール系化合物、2-(P-ジェチルアミノスチ リル) - 6 - ジェチルアミノペンゾチアゾール等 のチアゾール系化合物、ピス(4ージェチルアミ ノー2-メチルフェニル)-フェニルメタン等の トリアリールメタン系化合物、1、1-ピス(4 N , N - ジェチルアミノー 2 - メチルフェニル) ヘプタン、1, 1, 2, 2~テトラキス (4 - N, N - ジメチルアミノ - 2 - メチルフェニル) エタ ン等のポリアリールアルカン類、N,N'ージフ ェニルーN、N′ーピス(メチルフェニル)ペン ジジン、N, N′-ジフェニル-N, N′-ビス (エチルフェニル) ペンジジン、N, N'-ジフ ェニルーN, N′ーピス (プロピルフェニル) ベ ンジジン、N , N ′ - ジフェニル - N , N ′ - ビ ス(ブチルフェニル) - ペンジジン、N. N′-ピス (イソプロピルフェニル) - ペンジジン、N, N ′ - ジフェニル - N , N ′ - ピス (第 2 級プチ ルフェニル) - ベンジジン、N. N' - ジフェニ ルーN、N′ーピス(第3級ブチルフェニル)-

1 5

1 6

ベンジジンおよび N , N , ージフェニルー N , N , ーピス (クロロフェニル) ーベンジジン等のベンジジン系化合物、トリフェニルアミン、ポリー N ーピニルカルバゾール、ポリピニルアクリジン、ポリー 9 ーピニルフェニルアントラセン、ピレンーホルムアルデヒド樹脂等がある。

これらの電荷輸送材料を、構造式(I)に示す 芳香族ポリカーボネート樹脂とともに溶解した塗 布液を塗布、乾燥することにより、電荷輸送層を 形成することができる。

電荷発生層、電荷輸送層の塗布液に用いることものできる溶剤としては、ペンゼン、トルエン・キッレン、クロルペンゼンなどの芳香族炭化水来、アセトン、メチルエチルケトン、シクロール、オーンなどのケトン、メタノール、エタノール、インプロパノールなどのエステル、四塩化炭素、クロロホルム、ジクロルメタンなどの

ハロゲン化炭化水素、テトラヒドロフラン、ジオ キサンのようなエーテル、およびジメチルホルム アミド、ジメチルスルホキシドなどがある。

各層の塗布は、アプリケーター、スプレーコーター、バーコーター、デップコーター、ドクタブレード等を用いて行われる。

〔実施例〕

以下に本発明の実施例を示す。

実施例1

導電性透明支持体(100μmのポリエチレンテレフタレートフィルム表面上に酸化インジウムの蒸着膜を設けたもの、表面抵抗10°Ω)上に、下記構造式で示されるトリフェニルメタン2重量部と、

化合物(1)の芳香族ポリカーポネート(分子量 85,000) 4 重量部とをジクロロメタン60重量部に溶解した塗布液を、ワイヤーラウンドロッドを用いて塗布乾燥し、厚さ8 μ m の電荷輸送層を形成した。

この上に、下記構造式で示されるスクェアリウム顔料2重量部とポリエステル樹脂(東洋紡バイロン200)2重量部とを、

ジクロロメタン1 3 0 重量部、1 . 1 . 2 - トリクロロエタン1 3 0 重量部との混合溶媒中に混合し、これをボールミルで粉砕、調液して得られる塗布液をワイヤーラウンドロッドを用いて塗布乾燥し、厚さ約1 4 m の電荷発生層を形成した。

この場合、電荷発生層墜布時に電荷輸送層が結

1 9

の時点で感光体上に亀裂が生じ、コピー状に亀裂 模様が発生した。

実施例2

N、N、ージフェニルーN、N、ーピス(3ーメチルフェニル)ー〔1、1、ーピフェニル〕ー4、4、-ジアミン2重量部と、化合物(6)の芳香族ポリカーポネート(分子量8万)2重量部と、ジクロロメタン20重量部とを、ウエットギャップアルに二ウムシート上に塗布・乾燥し、25μmの電荷輸送層を形成した。

また同様の方法でパインダーとしてビスフェノール (Λ) のポリカーボネート (分子量 1 0 万) を用いて電荷輸送層を形成した。両者の試料をそれぞれ一部切り出してジクロロメタンを表面に霧吹きし溶剤処理を行った。

これらの塗膜をA & シートから網離後、おりまけ試験機(東洋精機: M I T 耐揉疲労試験機)を用いて荷重 1 kg W にて耐揉試験を行い、塗布膜が破壊するまでのおりまげ回数を求めた。その結果

晶化することはなかった。この感光体をウエルディングしてベルト状感光体を作製し、2インチRのロールを用いたベルトモジュールでコピーをとりながらベルトを連続回転していった。30キロサイクルまで調べたが、感光体上の亀裂はルーペを用いて調べても認められなかった。またこの間画質も良好なものが得られた。

比較例 1

実施例1において電荷輸送層中のバインダーポートリマーとして、ピスフェノール(A)のポリカーボネート(マクロロン5705分子量10万)を用い電荷輸送層を形成した。この上に実施例1と同じ条件で電荷発生層を形成したところ、電荷輸送層中に結晶が発生していることが認められたので実施例1における電荷発生層形成容を変布・乾燥した。

この場合には電荷輸送層の結晶化は認められなかった。しかし、この感光体を実施例1に示す方法でベルト状に加工し連続回転したところ、5 Kc

2 0

を表1に示す。

表 1

パインダ	化合物 (6 ポリカー	i) の 芳 香 族 - ボ ネ ー ト	ビスフェ のポリカ	. ノール(A) ! ーポネート
溶剤処理	なし	あり	ts L	あり
破 断 あ 折 り ま り ま り ま り	15000 💷	14300 @	6000回	2600回

「発明の効果]

本発明の電子写真用感光体は、その作製時、電

荷輪送層に結晶化が起こったり、ソルベントクラックを発生したりすることがなく、長時間にわたって、すぐれた機械的強度および電子写真特性を維持する。

2 3

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
TADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
TINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
\square REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
Потиев.

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.